

学校法人 大原学園

大原スポーツ医療保育福祉専門学校 学則

大原スポーツ医療保育福祉専門学校 学則

第1章 総 則

(目的)

第 1 条 本校は、教育基本法、学校教育法及び社会福祉士及び介護福祉士法に基づき介護、保育、医療事務、美容、ビューティー、ブライダル、製菓、スポーツ並びにこれらビジネスに関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを目的とする。

(名称)

第 2 条 本校は、大原スポーツ医療保育福祉専門学校（以下本校）と称する。

(位置)

第 3 条 本校は、福井県福井市大手2丁目9番1号に置く。

(自己点検・評価)

第 4 条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程及び学科、修業年限、定員、在学年限並びに休業日

(課程、学科、修業年限、定員、及び在学年限)

第 5 条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼・夜の別	備考
教育・社会福祉 専門課程	保育福祉科	3年	30名	90名	昼	男女
	介護福祉科	2年	35名	70名	昼	男女
	医療福祉科	2年	40名	80名	昼	男女
	医療福祉科	1年	20名	20名	昼	男女
衛生 専門課程	ビューティー科	2年	20名	40名	昼	女
	美容科	2年	70名	140名	昼	男女
	製菓衛生科	2年	20名	40名	昼	男女
	製菓衛生科	1年	15名	15名	昼	男女
文化・教養 専門課程	スポーツ産業科	2年	20名	40名	昼	男女
合 計			270名	535名		

*学級数は各学年1とする。ただし、美容科は各学年2とする。

- 2 学生は前項に規定する各学科の修業年限の2倍を超えて在籍することはできない。

(学年、学期の終始期)

第6条 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 2 本校の学期は、次のとおりとする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

- 3 前項に規定する学期のうち授業を行う期間については、前半期と後半期に分けることができるものとする

(休業日)

第7条 本校の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日

- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する日

- (3) 夏期休業

- (4) 冬期休業

- (5) 春期休業

- 2 第1項第3号から第5号に規定する休業期間は、校長が別に定める。

- 3 校長が必要であると認める場合は、特別の休業日を定めることができる。

- 4 校長が必要であると認める場合は、休業日であっても授業(実習を含む)を行う日とすることができる

- 5 非常変災その他急迫の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

第3章 教育課程、授業時間および教職員組織

(教育課程、授業時間)

第8条 本校の教育課程および授業時間等は、別表のとおりであり、授業時間は年間800時間以上とする。

(始業及び終業)

第9条 本校の始業は9時30分、終業は17時30分までとする。

(教職員組織)

第10条 本校に次の教職員を置く。

- (1) 校長 1名

- (2) 教員 19名以上(ただし介護福祉科は専任3名以上、美容科は専任4名以上、製菓衛生科は専任1名以上)

- (3) 事務職員 1名以上

- 2 校長は、校務をつかさどり、所属教職員を監督する。

第4章 入学、転科、休学、復学等

(入学資格)

第11条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者

- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を終了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教

- 育施設の当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
 - (5) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
 - (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
 - (7) 修業年限が3年の専修学校の高等課程を修了した者
 - (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学したものであって、専修学校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められたもの
 - (9) その他専修学校において高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者

（入学時期）

第12条 本校の入学時期は、第6条に示す学年の始めとする。

（入学手続）

第13条 本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し別表第2に定める入学選考料を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前号の手続きを終了した者に対して選考を行い入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、所定の日までに別表第2に定める入学金を添えて入学手続きをとらなければならない。

（転科・転学）

第14条 学生が他の学科等への転科を希望する場合には、在籍校の校長に願い出て許可を得なければならない。

- 2 学生が他の学校等への転学を希望する場合には、在籍校の校長に願い出て許可を得なければならない。
- 3 転科・転学については、在籍校の校長の認める時期に限りこれを認める。
- 4 他の学科等に転学・転科した者の履修時間、履修単位については、元の学科の全部または一部を校長の許可するところにより引き継ぐことができる。

（編入学・再入学）

第15条 次の各号の一に該当する者で、本校に入学を希望する者があるときは、選考の上、校長は相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 専門学校を卒業し、又は退学した者で編入学を希望した者
- (2) 第29条の規定により、本校の一学科を退学した者で、本校に再入学を希望した者
- 2 編入学又は再入学した者の在学年数及び単位数等については、元の学校の在学年数、単位数の全部又は一部を校長の許可するところにより算入することができる。

（休学、復学）

第16条 疾病、その他やむを得ない理由により、15日以上修学することができない者は、校長の許可を得て休学することができる。

- 2 休学の期間は1年以内とする。
- 3 前1項の者は休学の理由が消滅した場合は、校長に届け出て、許可を得て復学することができる。

第5章 授業の履修、単位、学業成績および卒業等

(授業の履修)

- 第17条 授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれか又はこれらの併用で行うものとする。
- 2 前項の授業は多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外で履修させることができる。

(単位)

- 第18条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
- (1) 講義及び演習にあつては15時間から30時間をもって1単位とする。
 - (2) 実習・実技にあつては30時間から45時間をもって1単位とする。
 - (3) 一つ授業科目について、講義若しくは演習又は実習若しくは実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、(1)及び(2)の基準を考慮して本校が定める時間の授業をもって1単位とする。

(定期試験等)

- 第19条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- 2 各授業科目の成績評価方法については別に定める。

(学業成績)

- 第20条 学業成績の判定は、秀・優・良・可・不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。
- 2 授業科目の成績は前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P (Grade-Point) を与える。

(単位の授与)

- 第21条 授業科目の履修成績において、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

(他の大学・専修学校等における授業科目の履修等)

- 第22条 教育上有益と認める時は、校長の認めるところにより、他の大学・専修学校の専門課程における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修とみなすことができる。
- 2 前項により本校専門課程における授業科目の履修とみなすことができる単位数は転学等の場合を除き、本校専門課程の修了に必要な単位数の2分の1を超えないものとする。

(進級)

- 第23条 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

(卒業の認定)

- 第24条 卒業の認定は、第5条に規定する修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。
- (1) 保育福祉科は、2,604時間 (116単位)
 - (2) 介護福祉科は、2,074時間 (68単位)

- (3) 医療福祉科（2年制）は、1,700時間（62単位）
 - (4) 医療福祉科（1年制）は、800時間（30単位）
 - (5) ビューティー科は、1,700時間（62単位）
 - (6) 美容科は、2,010時間（67単位）
 - (7) 製菓衛生科（2年制）は、1,700時間（62単位）
 - (8) 製菓衛生科（1年制）は、800時間（30単位）
 - (9) スポーツ産業科は、1,800時間（62単位）
- 2 介護福祉科、保育福祉科、美容科の卒業については別に定める履修の認定・進級・卒業に関する規定に基づき、校長がこれを認定する。
 - 3 第1項に規定する卒業の認定は、最終学年の終わりに行う。

（称号の授与）

第25条 第24条の規定により以下の学科を卒業した者には次のとおり専門士の称号を授与する。

- (1) 介護福祉科、保育福祉科、医療福祉科（2年制）（教育・社会福祉専門課程）
- (2) ビューティー科、美容科、製菓衛生科（2年制）（衛生専門課程）
- (3) スポーツ産業科（文化教養専門課程）

（注意文書）

第26条 欠席、遅刻、早退（以下、欠席等）が多く授業履修に支障をきたす恐れがある者に対して

て

は注意文書を以て指導を行う。

- 2 注意文書による指導はその欠席等の日数により、段階的に訓告、戒告とする。

第6章 褒賞、懲戒及び退学

（褒賞）

第27条 成績優秀にして他の模範となる者について、校長はこれを褒賞することがある。

（懲戒）

第28条 学生が本校の規則、命令に背きもしくは本校の秩序を乱し、または学生としての本分に反する行為があった場合には、校長はこれを懲戒することができる。

- 2 前項に規定する懲戒種類は訓告、戒告、停学および退学とする。
- 3 前項に規定する退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
 - (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
 - (5) 故意に学校の諸設備を破損、損傷させた者。なお、この者は諸設備の復元義務を負わなければならない。
- 4 本条2項に規定する停学に係る期間は出席時間数には算入しない。

（退学）

第29条 自主退学しようとする者は、その事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

（除籍）

第30条 校長は、次の各号の一に該当する者については、これを除籍する。

- (1) 第5条2項に規定する在籍期間を超えた者。

- (2) 第16条2項に規定する休学期間を超えた者。
- (3) 学費の納付を怠り、督促を受けてなおこれを納入しない者。
- (4) 第29条の事由で退学する者で、所定の期間内に退学願いを提出しない者

第7章 入学金、授業料、特待生、その他

(納付金)

- 第31条 本校の入学金、授業料等は別表第2のとおりとする。
- 2 前項に規定する納付金は、年度の更新に伴い改定することができる。
 - 3 納付済の授業料、その他の納付金は、原則としてこれを返還しない。
ただし、入学手続完了から入学年の始期の前日までに、入学辞退を希望する場合は、本校所定の学費返還手続きにより納入金額から入学金を除いた額を返還する。

(納入および納入の特例)

- 第32条 学生がその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料を所定の期日までに納入しなければならない。
- 2 学生が休学したときは、前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料を免除することがある。
 - 3 特別の事由のある場合には、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を減免することがある。

(特待生)

- 第33条 本校に在籍する学生の中で特に成績優秀、品行方正にして本校生の模範となると判断される者、又は本校入学時において、その入学しようとする者が、特に成績優秀で他の入学生の模範と判断される者に対しては、校長はその一定期間における学費の全額または一部を免除することがある。

(健康診断)

- 第34条 健康診断は、毎年1回実施する。

第8章 科目等履修生

(科目等履修生)

- 第35条 短期大学、大学等の他の高等教育機関との協議により、当該大学等の学生が本校において授業科目の一部を履修する場合、科目履修生として受け入れ、履修を認めることができる。
- 2 その他、科目履修生に関する事項は、校長が別に定める。
 - 3 入学金、授業料等は別に定めるものとする

第9章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

第36条 本校の附帯教育事業として次の通り別科を設置する。

科名	修業期間	定員	備考
介護初任者研修通信課程	4ヶ月	20名	
介護技術講習会	1ヶ月	40名	
介護福祉士受験対策講座	1ヶ月	80名	
介護福祉士実務者研修通信課程	3～6ヶ月	32名	
保育科通信課程	4ヶ月	20名	

2 附帯教育の入学料、授業料、教育課程その他必要な事項は、別に定める。

第10章 雑 則

(施行細則)

第37条 この学則の施行についての細則は別に定める。

附 則

- この学則は、平成9年4月1日から施行する。
平成11年4月1日一部改正施行。
平成14年4月1日一部改正施行。
平成15年4月1日一部改正施行。
平成17年3月3日一部改正施行。
平成17年3月9日一部改正施行。
平成17年4月1日一部改正施行。
平成17年12月26日一部改正施行。
平成18年4月1日一部改正施行。
平成19年4月1日一部改正施行。
平成20年4月1日一部改正施行。
平成21年4月1日一部改正施行。
平成22年4月1日一部改正施行。
平成23年4月1日一部改正施行。
平成23年8月11日一部改正施行。
平成24年4月1日一部改正施行。
平成25年3月1日一部改正施行。
平成25年4月1日一部改正施行。
平成26年3月1日一部改正施行。
平成26年4月1日一部改正施行。
平成27年4月1日一部改正施行。
平成28年3月1日一部改正施行。
平成30年4月1日一部改正施行。
平成31年4月1日一部改正施行。
令和2年4月1日一部改正施行。
令和3年4月1日一部改正施行。
令和5年4月1日一部改正施行。

別表第1

教育・社会福祉専門課程 保育福祉科(昼間部)

科目区分	必修・選択 の別	授業科目	第1学年		第2学年		第3学年		授業時数合計	
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数	単位数	単位数
一般科目	必修	ビジネス教養Ⅰ	80	2					80	2
		ビジネス教養Ⅱ			30	1			30	1
		ビジネス教養Ⅲ					30	1	30	1
		就職実務Ⅰ			30	1			30	1
		就職実務Ⅱ					60	2	60	2
専門科目	必修	保育原理			30	2			30	2
		教育原理	30	2					30	2
		子ども家庭福祉			30	2			30	2
		社会福祉	30	2					30	2
		子ども家庭支援論					30	2	30	2
		社会的養護Ⅰ	30	2					30	2
		教職概論	30	2					30	2
		保育の心理学					30	2	30	2
		子ども家庭支援の心理学			30	2			30	2
		教育心理学	32	2					32	2
		子どもの保健			30	2			30	2
		子どもの食と栄養					32	2	32	2
		教育課程総論	30	2					30	2
		保育内容総論	16	1					16	1
		健康(指導法)	16	1					16	1
		人間関係(指導法)	16	1					16	1
		環境(指導法)	16	1					16	1
		言葉(指導法)	16	1					16	1
		造形表現(指導法)	32	2					32	2
		音楽表現技術			16	1			16	1
		幼児と音楽表現	16	1					16	1
		幼児と造形表現			16	1			16	1
		幼児と健康			16	1			16	1
		幼児と言葉					16	1	16	1
		乳児保育Ⅰ			30	2			30	2
		乳児保育Ⅱ			16	1			16	1
		子どもの健康と安全					16	1	16	1
		障害児保育			16	1			16	1
		幼児への特別な支援			16	1			16	1
		社会的養護Ⅱ			16	1			16	1
		子育て支援					16	1	16	1
		音楽表現(指導法)	16	1					16	1
		劇あそび(指導法)			16	1			16	1
		児童文化	32	2					32	2
		音楽(理論)			30	1			30	1
		図画工作Ⅱ			16	1			16	1
		幼児と人間関係					16	1	16	1
		幼児と環境					16	1	16	1
		保育実習事前事後指導(保育)			16	1			16	1
		保育実習			80	2			80	2
		保育実習事前事後指導(施設)					16	1	16	1
		施設実習					80	2	80	2
		保育実習Ⅱ					80	2	80	2
		保育実習Ⅱ事前事後指導					16	1	16	1
教育実習事前事後指導			16	1			16	1		
教育実習			80	2			80	2		
教育実習Ⅱ					80	2	80	2		
保育・教職実践演習					32	2	32	2		
教育方法論	30	2					30	2		
教育相談			30	2			30	2		
日本国憲法			30	2			30	2		
健康科学	16	1					16	1		
生涯スポーツ	24	1					24	1		
英会話Ⅰ	32	2					32	2		
情報処理入門	46	2					46	2		
教育実習事前指導	16	1					16	1		
教育実習事前事後指導Ⅱ					16	1	16	1		
こども園見学	20	1					20	1		
教育見学実習	30	1					30	1		
保育見学実習			30	1			30	1		

専門科目	必須	レクリエーション概論	30	1				30	1	
		レクリエーション演習			40	1			40	1
		音楽Ⅰ（器楽・声楽）	120	4					120	4
		音楽Ⅱ（器楽・声楽）			100	3			100	3
		音楽Ⅲ（弾き歌い）					90	2	90	2
		合同PRⅠ	30	1					30	1
		合同PRⅡ			30	1			30	1
		合同PRⅢ					30	1	30	1
		遊びの研究Ⅰ	30	1					30	1
		遊びの研究Ⅱ			30	1			30	1
		遊びの研究Ⅲ					30	1	30	1
		日赤幼児安全支援法					24	1	24	1
	卒業研究					90	3	90	3	
	選択	こども遊び専攻					30	1	30	1
		こども音楽専攻					30	1		
こどもスポーツ専攻						30	1			
こども心理専攻						30	1			
必修科目授業時数		862	43	866	39	846	33	2574	115	
選択科目授業時数						30	1	30	1	
卒業に必要な総授業時数		862	43	866	39	876	34	2,604	116	

- ※1. 選択科目はいずれか1教科を選択するものとする
 2. 1授業時間は45分とする。（45分×2の90分で行う）

別表第1

教育・社会福祉専門課程 介護福祉科(昼間部)

領域	必修・選択 の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数		
人間と社会	必	人間の理解Ⅰ	30	1			30	1
	必	人間の理解Ⅱ	60	2			60	2
	必	社会の理解	60	2			60	2
	必	レクリエーション基礎	30	1			30	1
	必	レクリエーション指導			40	2	40	2
	必	社会常識			30	1	30	1
	必	情報科学演習			30	1	30	1
	必	人間と社会の総合			30	1	30	1
	選	人間と社会特論Ⅰ	30	1			30	1
	選	人間と社会特論Ⅱ			30	1	30	1
選	福祉実務			30	1	30	1	
介護	必	介護の基本Ⅰ	30	1			30	1
	必	介護の基本Ⅱ	30	1			30	1
	必	介護の基本Ⅲ	30	1			30	1
	必	介護の基本Ⅳ	30	1			30	1
	必	介護の基本Ⅴ	30	1			30	1
	必	介護の基本Ⅵ	30	1			30	1
	必	コミュニケーション技術Ⅰ	30	1			30	1
	必	コミュニケーション技術Ⅱ			30	1	30	1
	必	生活支援技術の基本	60	2			60	2
	必	福祉住環境Ⅰ			30	1	30	1
	必	家事介護			30	1	30	1
	必	日常生活介護Ⅰ	30	1			30	1
	必	日常生活介護Ⅱ	30	1			30	1
	必	日常生活介護Ⅲ			30	1	30	1
	必	日常生活介護Ⅳ	30	1			30	1
	必	日常生活介護Ⅴ			30	1	30	1
	必	利用者の状態・状況に応じた介護技術			30	1	30	1
	必	介護過程Ⅰ	30	1			30	1
	必	介護過程Ⅱ	60	2			60	2
	必	介護過程Ⅲ			60	2	60	2
	必	介護総合演習Ⅰ	40	2			40	2
	必	介護総合演習Ⅱ			40	2	40	2
	必	介護総合演習Ⅲ			40	2	40	2
	必	介護実習Ⅰ	120	3			120	3
	必	介護実習Ⅱ			160	4	160	4
	必	介護実習Ⅲ			176	4	176	4
	必	介護の総合			90	3	90	3
	選	介護特論Ⅰ	30	1			30	1
	選	介護特論Ⅱ	30	1			30	1
	選	介護特論Ⅲ	30	1			30	1
	選	介護特論Ⅳ			30	1	30	1
	選	介護実践Ⅰ	30	1			30	1
選	介護実践Ⅱ	30	1			30	1	
選	介護実践Ⅲ			30	1	30	1	
選	介護実践Ⅳ			30	1	30	1	
選	福祉住環境Ⅱ			30	1	30	1	
こころとからだのしくみ	必	認知症の理解	60	2			60	2
	必	発達と老化の理解	60	2			60	2
	必	障害の理解	60	2			60	2
	必	こころとからだのしくみⅠ	30	1			30	1
	必	こころとからだのしくみⅡ	30	1			30	1
	必	こころとからだのしくみⅢ	30	1			30	1
	必	こころとからだのしくみⅣ			30	1	30	1
	必	こころとからだのしくみの総合			30	1	30	1
	選	こころとからだのしくみ特論Ⅰ	30	1			30	1
選	こころとからだのしくみ特論Ⅱ			30	1	30	1	
医療的ケア	必	医療的ケア			78	3	78	3
必修科目授業時数			1060	35	1014	33	2074	68
選択科目授業時数			210	7	210	7	420	14
卒業に必要な総授業時数			1060	35	1014	33	2074	68

※1授業時間は、45分とする(45分×2の90分で行う)

別表

教育・社会福祉専門課程 医療福祉科(2年制) (昼間部)

科目区分	必修・選択の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数	
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数			
一般科目	必修	一般教養Ⅰ	30	1			30	1	
		一般教養Ⅱ			30	1	30	1	
		ビジネス教養Ⅰ	60	2			60	2	
		ビジネス教養Ⅱ			30	1	30	1	
		パソコン実習Ⅰ	30	1			30	1	
		パソコン実習Ⅱ			30	1	30	1	
		キャリアデザインⅠ	30	1			30	1	
		キャリアデザインⅡ			30	1	30	1	
		医療キャリアデザインⅠ			30	1	30	1	
専門科目	必修	医療秘書実践Ⅰ	30	1			30	1	
		医療秘書実践Ⅱ	60	2			60	2	
		医療秘書実践Ⅲ	30	1			30	1	
		医療請求事務Ⅰ	180	6			180	6	
		医療秘書Ⅰ	60	2			60	2	
		医学基礎知識	30	1			30	1	
		医学関連知識	30	1			30	1	
		医療保障論	60	2			60	2	
		医療関連法規Ⅰ	60	2			60	2	
		患者接遇Ⅰ	60	2			60	2	
		病院管理論Ⅰ	30	1			30	1	
		OA基礎概論	30	1			30	1	
		選択A	解剖学	60	2			60	2
			薬理学知識	60	2			60	2
	生命と人間		90	3			90	3	
	選択B	医療請求事務Ⅱ	90	3			90	3	
		病院管理論Ⅱ	60	2			60	2	
		医療関連法規Ⅱ	60	2			60	2	
	選択C	病院実習Ⅰ	120	4			120	4	
		ビジネス実務Ⅰ	120	4			120	4	
	選択D	サービス知識			60	2	60	2	
		秘書			60	2	60	2	
		医事コンピュータ実習Ⅱ			60	2	60	2	
		表計算実習			60	2	60	2	
	選択E	簿記入門Ⅰ			30	1	30	1	
		3級商業簿記基礎			90	3	90	3	
		3級簿記総合			120	4	120	4	
	選択F	Excel基礎			60	2	60	2	
		MOS対策2			90	3	90	3	
		Excel応用			90	3	90	3	
	選択G	秘書実践演習Ⅱ			60	2	60	2	
		診療録管理概論			30	1	30	1	
		医事コンピュータ実習Ⅰ			60	2	60	2	
		患者接遇Ⅱ			60	2	60	2	
		OA応用概論			60	2	60	2	
		職業実践演習初級			240	8	240	8	
	選択H	病院実習Ⅱ			120	4	120	4	
		ビジネス実務Ⅱ			120	4	120	4	
	選択I	職業実践演習上級			90	3	90	3	
		ビジネス実務Ⅲ			90	3	90	3	
		ビジネスマナー			60	2	60	2	
		実践数的Ⅰ 数的推理			30	1	30	1	
実践数的Ⅱ 判断推理				20	1	20	1		

選択J	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈			24	1	24	1
	実践社会科学Ⅰ 政治			20	1	20	1
	実践社会科学Ⅱ 経済			24	1	24	1
	実践人文科学Ⅰ 地理			20	1	20	1
	実践人文科学Ⅱ 歴史			30	1	30	1
	実践言語Ⅰ 文理・国語			15	1	15	1
	実践演習Ⅰ 数的処理			24	1	24	1
	実践演習Ⅱ 社会科学			28	1	28	1
	実践答案練習Ⅰ			48	2	48	2
	公務員時事対策			30	1	30	1
	公務員適性検査演習Ⅱ			40	2	40	2
	公務員教養論文対策			30	2	30	2
	選択K	基礎自然科学Ⅴ 理数科目総合			20	1	20
実践演習Ⅲ 人文科学				24	1	24	1
実践数的Ⅳ 数的総合				40	2	40	2
実践自然科学Ⅰ 生物・地学				28	1	28	1
実践自然科学Ⅱ 物理・化学				28	1	28	1
実践演習Ⅳ 自然科学				16	1	16	1
実践答案練習Ⅱ				90	3	90	3
直前答案練習Ⅰ				108	4	108	4
直前答案練習Ⅱ				102	4	102	4
直前答案練習Ⅲ				30	1	30	1
憲法				40	2	40	2
民法				68	3	68	3
行政法				38	2	38	2
公務員時事研究				30	2	30	2
公務員就職試験対策Ⅱ				30	1	30	1
公務員キャリアデザインⅠ				90	3	90	3
公務員キャリアデザインⅡ				120	4	120	4
公務員適性検査演習Ⅰ				60	2	60	2
トレーニング実習				30	1	30	1
職業実務Ⅱ				15	1	15	1
職業実務Ⅲ				15	1	15	1
職業実務Ⅳ				15	1	15	1
職業実務Ⅴ				15	1	15	1
公官庁講話				20	1	20	1
公務員倫理				15	1	15	1
公共ボランティア実習Ⅰ				30	1	30	1
公共ボランティア実習Ⅱ				30	1	30	1
法律研究				30	1	30	1
行政研究				30	1	30	1
必修科目授業時数		810	27	150	5	960	32
選択科目授業時数		330	11	960	32	1290	43
卒業に必要な総授業時数		850	31	850	31	1700	62

- ※1. 第1学年において、選択科目は選択A、選択Bのいずれかを選択し、選択C内のいずれか1科目を選択するものとする。
2. 第2学年において、選択Aを選択した場合は選択Dを、選択Bを選択した場合は選択E、選択F、選択Jのいずれかを選択するものとする。
3. 選択D、選択E、選択Fのいずれかを選択した場合は、選択Gを選択し、選択Hおよび選択Iのそれぞれから1科目を選択するものとする。
4. 選択Jを選択した場合は選択Kより409時数以上かつ9単位以上を選択すること。
5. 1授業時間は45分とする（45分×2の90分で行う）

別表第 1

教育・社会福祉専門課程 医療福祉科(1年制) (昼間部)

	必修・選択 の別	授業科目	第1学年		授業時数合計	単位数
			年間授業時数	単位数		
一般科目	必修	一般教養 I	30	1	30	1
		ビジネス教養 I	60	2	60	2
		パソコン実習 I	30	1	30	1
		キャリアデザイン I	30	1	30	1
		医療キャリアデザイン I	30	1	30	1
専門科目	必修	医療秘書実践 I	30	1	30	1
		医療秘書実践 II	60	2	60	2
		医療秘書実践 III	30	1	30	1
		医療請求事務 I	180	6	180	6
		医療秘書 I	60	2	60	2
		医学基礎知識	30	1	30	1
		医学関連知識	30	1	30	1
		医療保障論	60	2	60	2
		医療関連法規 I	60	2	60	2
		医事コンピュータ実習	30	1	30	1
		患者接遇 II	60	2	60	2
		病院管理論 I	30	1	30	1
		OA基礎概論	30	1	30	1
		職業実践演習	120	4	120	4
	選択	病院実習	120	4	120	4
		ビジネス実務	120	4		4
必修科目授業時数			990	33	990	33
選択科目授業時数			120	4	120	4
卒業に必要な総授業時数			850	31	850	31

※1. 1授業時間は45分とする(45分×2の90分で行う)

別表第1

衛生専門課程 ビューティー科 (昼間部)

科目区分	必修・選択 の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数		
一般科目	必須	ビジネス教養Ⅰ	120	4			120	4
		ビジネス教養Ⅱ			30	1	30	1
		ビジネスマナー			30	1	30	1
		W o r d基礎	60	2			60	2
		E x c e l基礎			60	2	60	2
		サービス接遇			60	2	60	2
		就職実務Ⅰ	30	1			30	1
		就職実務Ⅱ			60	2	60	2
		検定対策 (エステ)			30	1	30	1
専門科目	必須	ブライダル基礎	60	2			60	2
		ブライダル応用			60	2	60	2
		エステティック理論	60	2			60	2
		フェイシャルエステティック理論	30	1			30	1
		フェイシャルエステティック実習	90	3			90	3
		フットケア	30	1			30	1
		ボディエステティック理論	30	1			30	1
		ボディエステティック実習	60	2			60	2
		エステティック実習			90	3	90	3
		メイクアップ理論Ⅰ	30	2			30	2
		メイクアップ理論Ⅱ			30	2	30	2
		メイクアップ実習Ⅰ	120	4			120	4
		メイクアップ実習Ⅱ			60	2	60	2
		ネイル実習	120	4			120	4
		ジェルネイル			60	2	60	2
		色彩概論	30	1			30	1
		手書きPOP			30	1	30	1
		秘書概論			60	2	60	2
	イベント実務			90	3	90	3	
	選択1	着付け実習			60	2	60	2
		認定エステ			60	2	60	2
		ビューティーメイク			60	2	60	2
		ネイル演習			60	2	60	2
	選択2	ブライダル2級	60	2			60	2
		ブライダル1級	30	1			30	1
		ブライダルコーディネーター基礎Ⅰ	30	1			30	1
		ブライダルコーディネーター応用Ⅰ	60	2			60	2
		レポート研修	15	1			15	1
		ドレスコーディネーター実務	30	2			30	2
		挙式オペレーションⅠ	30	2			30	2
		ウェディングプロデュースⅠ	30	2			30	2
	選択3	ウェディングカウンセリングⅠ	30	2			30	2
		ブライダルコーディネーター基礎Ⅱ			30	1	30	1
ブライダルコーディネーター応用Ⅱ				60	2	60	2	
ITリテラシー				15	1	15	1	
色彩活用				30	1	30	1	
挙式オペレーションⅡ				30	1	30	1	
ウェディングカウンセリングⅡ				30	1	30	1	
ウェディングカウンセリングⅢ				30	1	30	1	
ウェディングプロデュースⅡ			30	1	30	1		
ウェディングプロデュースⅢ			30	1	30	1		
必修科目授業時数			870	30	750	26	1620	56
選択科目授業時数			90	3	150	5	240	8
卒業に必要な総授業時数			850	31	850	31	1700	62

※1 選択1より、第2学年において60時間を選択するものとする。

※2 選択2より、第1学年において、90時間(3単位)以上を選択するものとする。

※3 選択3より、第2学年において、90時間(3単位)以上を選択するものとする。

※4 1授業時間は、45分とする。(45分×2の90分で行う)

別表第1
衛生専門課程 美容科（昼間部）

科目区分	必修・選択 の別	授業科目	第1学年	第2学年	授業時数合計	単位数
			年間授業時数	年間授業時数		
一般科目	選択必修	美容キャリアデザインⅠ	150		150	5
		美容キャリアデザインⅡ		120	120	4
専門科目	必修	関係法規・制度Ⅰ	20		20	1
		関係法規・制度Ⅱ		10	10	
		衛生管理Ⅰ	50		50	1
		衛生管理Ⅱ		40	40	2
		保健Ⅰ	50		50	1
		保健Ⅱ		40	40	2
		化粧品化学Ⅰ	40		40	1
		化粧品化学Ⅱ		20	20	2
		文化論Ⅰ	40		40	1
		文化論Ⅱ		20	20	2
		美容技術理論Ⅰ	90		90	3
		美容技術理論Ⅱ		60	60	2
		運営管理Ⅰ	20		20	1
		運営管理Ⅱ		10	10	
		美容実習Ⅰ	390		390	13
	美容実習Ⅱ		510	510	17	
		選択必修	職業実践Ⅰ	150		150
	職業実践Ⅱ			180	180	6
必修科目授業時数			700	710	1410	47
選択科目授業時数			300	300	600	20
卒業に必要な総授業時数			1000	1010	2010	67

※1 授業時間は、45分とする（45分×2の90分で行う）

別表第1

衛生専門課程 製菓衛生科(2年制)(昼間部)

科目区分	必修・選択 の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数		
専門科目	必修	衛生法規	30	1			30	1
		公衆衛生学	60	2			60	2
		食品学	60	2			60	2
		食品衛生学	120	4			120	4
		栄養学	60	2			60	2
		社会	30	1			30	1
		製菓理論	90	3			90	3
		基礎実習	180	6			180	6
		専門実習	300	10			300	10
		応用実習			420	14	420	14
		店舗運営基礎	30	1			30	1
		店舗運営実務			210	7	210	7
		店舗運営応用			90	3	90	3
		職業実践概論	30	1			30	1
		職業実践演習			210	7	210	7
		必修科目授業時数			990	33	930	31
卒業に必要な総授業時数			850	31	850	31	1700	62

※1 授業時間は、45分とする（45分×2の90分で行う）

別表第1

衛生専門課程 製菓衛生科(1年制)(昼間部)

科目区分	必修・選択 の別	授業科目	第1学年	
			年間授業時数	単位数
専門科目	必修	衛生法規	30	1
		公衆衛生学	60	2
		食品学	60	2
		食品衛生学	120	4
		栄養学	60	2
		社会	30	1
		製菓理論	90	3
		基礎実習	180	6
		専門実習	300	10
		店舗運営基礎	30	1
		職業実践概論	30	1
必修科目授業時数			990	33
卒業に必要な総授業時数			800	30

※1授業時間は、45分とする(45分×2の90分で行う)

別表第1

文化・教養専門課程 スポーツ産業科(昼間部)

科目区分	必修・選択の別	授業科目	第1学年		第2学年		授業時数合計	単位数	
			年間授業時数	単位数	年間授業時数	単位数			
一般科目	必修	一般教養Ⅰ	30	1			30	1	
		コミュニケーション概論	30	1			30	1	
		キャリアデザインⅠ	30	1			30	1	
	選択A	一般教養Ⅱ			30	1	30	1	
		コミュニケーション実践			30	1	30	1	
		キャリアデザインⅡ			30	1	30	1	
	選択B	ビジネス教養Ⅰ			30	1	30	1	
		ビジネス教養Ⅱ			30	1	30	1	
		キャリアデザインⅡ			30	1	30	1	
		ビジネスマナー			60	2	60	2	
専門科目	必修	エアロビクスⅠ	60	2			60	2	
		水中運動Ⅰ	60	2			60	2	
		スポーツキャリアデザインⅠ	30	1			30	1	
		スポーツキャリアデザインⅡ	30	1			30	1	
		スポーツキャリアデザインⅢ	30	1			30	1	
		スポーツ栄養学	60	2			60	2	
		解剖学Ⅰ	60	2			60	2	
		救急処置	60	2			60	2	
		トレーニング実践Ⅰ	60	2			60	2	
		運動生理学Ⅰ	60	2			60	2	
		スポーツ心理学Ⅰ	30	1			30	1	
		発育発達論	60	2			60	2	
		スポーツ社会学	30	1			30	1	
		グループエクササイズ	60	2			60	2	
		レジスタンスエクササイズ	30	1			30	1	
		ストレッチングエクササイズ	30	1			30	1	
		キャンプ実習	30	1			30	1	
		選択C	フィットネスマネジメント	30	1			30	1
			トレーニング理論	30	1			30	1
			トレーニング実践Ⅱ	30	1			30	1
	トレーニング実践Ⅲ		30	1			30	1	
	トレーニング実践Ⅳ		30	1			30	1	
	リハビリテーションⅠ		30	1			30	1	
	フィットネスマネジメントⅠ		30	1			30	1	
	フィットネス実践Ⅰ		30	1			30	1	
	フィットネス実践Ⅱ		30	1			30	1	
	スキー基礎技術論		30	1			30	1	
	スノーボード基礎技術論		30	1			30	1	
	ダイビング実習		30	1			30	1	
	幼児体育指導者理論Ⅰ		30	1			30	1	
	幼児体育指導者実践		30	1			30	1	
	選択D		スポーツ医学Ⅰ			30	1	30	1
			健康管理概論			30	1	30	1
			運動処方			30	1	30	1
		健康運動実践指導者理論Ⅰ			30	1	30	1	
	選択E	スポーツキャリアデザインⅣ			30	1	30	1	
		スポーツキャリアデザインⅤ			30	1	30	1	
		バイオメカニクス			60	2	60	2	
		スポーツ医学Ⅱ			30	1	30	1	
		測定評価			30	1	30	1	
		スポーツ心理学Ⅱ			30	1	30	1	
		トレーニング実践Ⅴ			60	2	60	2	
		ジョグ&ウォーク			30	1	30	1	
		陸上運動			30	1	30	1	
		水中運動Ⅱ			30	1	30	1	
		健康運動実践指導者理論Ⅱ			30	1	30	1	
		解剖学Ⅱ			60	2	60	2	
		運動生理学Ⅱ			60	2	60	2	
		アクアエクササイズ			30	1	30	1	
		エアロビクスⅡ			30	1	30	1	
		トレーニング指導者理論			30	1	30	1	
	トレーニング指導者実践			30	1	30	1		
	トレーニング指導者演習Ⅰ			30	1	30	1		

	トレーニング指導者演習Ⅱ			30	1	30	1
選択F	リハビリテーションⅡ			30	1	30	1
	フィットネス実践Ⅲ			30	1	30	1
	フィットネス実践Ⅳ			30	1	30	1
	トレーニング実践Ⅵ			30	1	30	1
	トレーニング実践Ⅶ			30	1	30	1
	トレーニング実践Ⅷ			30	1	30	1
	幼児体育理論Ⅱ			30	1	30	1
選択G	販売知識基礎			90	3	90	3
	販売知識応用			90	3	90	3
	ライフプランニング概論Ⅱ			60	2	60	2
	リスク管理概論Ⅱ			60	2	60	2
	金融資産運用設計概論Ⅱ			60	2	60	2
	タックスプランニング概論Ⅱ			60	2	60	2
	不動産運用設計概論Ⅱ			60	2	60	2
	相続・事業継承設計概論Ⅱ			30	1	30	1
	ライフプランニング概論Ⅲ			30	1	30	1
	リスク管理概論Ⅲ			30	1	30	1
	金融資産運用設計概論Ⅲ			30	1	30	1
	タックスプランニング概論Ⅲ			30	1	30	1
	不動産運用設計概論Ⅲ			30	1	30	1
	相続・事業継承設計概論Ⅲ			30	1	30	1
	金融市場政策論			30	1	30	1
	経営常識			30	1	30	1
	キャリアデザインⅢ			30	1	30	1
	経理キャリアデザインⅠ			30	1	30	1
	経理キャリアデザインⅡ			30	1	30	1
	経理キャリアデザインⅢ			30	1	30	1
	事務キャリアデザインⅢ			30	1	30	1
	事務キャリアデザインⅣ			30	1	30	1
	事務キャリアデザインⅤ			30	1	30	1
	事務キャリアデザインⅥ			30	1	30	1
	流通キャリアデザインⅢ			30	1	30	1
	流通キャリアデザインⅣ			30	1	30	1
	流通キャリアデザインⅤ			30	1	30	1
	流通キャリアデザインⅥ			30	1	30	1
	Word基礎			60	2	60	2
	Word応用			30	1	30	1
	Excel応用			30	1	30	1
	Power Point基礎			60	2	60	2
	Power Point応用			30	1	30	1
	接遇ビジネスマナー			30	1	30	1
	パソコン実習Ⅰ			30	1	30	1
	パソコン実習Ⅱ			30	1	30	1
	パソコン実習Ⅲ			30	1	30	1
	パソコン実習Ⅳ			30	1	30	1
	パソコン実習Ⅴ			180	6	180	6
	パソコン実習Ⅵ			180	6	180	6
	パソコン実習Ⅶ			120	4	120	4
	事務職ビジネスマナー			30	1	30	1
	経理実務			60	2	60	2
	給与計算実務			30	1	30	1
	財務会計			90	3	90	3
	販売仕入管理			30	1	30	1
	時事			30	1	30	1
言語知識(英語基礎)Ⅰ			30	1	30	1	
言語知識(中国語)Ⅰ			30	1	30	1	
言語知識(韓国語)Ⅰ			30	1	30	1	
マーケティング概要			30	1	30	1	
マーケティング基礎			60	2	60	2	
販売職ビジネスマナー			90	3	90	3	
プレゼンテーション			30	1	30	1	
卒業研究			180	6	180	6	
選択H	実践数的Ⅰ 数の推理			30	1	30	1
	実践数的Ⅱ 判断推理			20	1	20	1
	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈			24	1	24	1
	実践社会科学Ⅰ 政治			20	1	20	1
	実践社会科学Ⅱ 経済			24	1	24	1

	実践人文科学Ⅰ 地理			20	1	20	1	
	実践人文科学Ⅱ 歴史			30	1	30	1	
	実践言語Ⅰ 文理・国語			15	1	15	1	
	実践演習Ⅰ 数の処理			24	1	24	1	
	実践演習Ⅱ 社会科学			28	1	28	1	
	実践答案練習Ⅰ			48	2	48	2	
	直前答案練習Ⅰ			108	4	108	4	
	公務員時事対策			30	1	30	1	
	公務員適性検査演習Ⅱ			40	2	40	2	
	公務員教養論文対策			30	2	30	2	
選択I	基礎自然科学Ⅴ 理数科目総合			20	1	20	1	
	実践演習Ⅲ 人文科学			24	1	24	1	
	実践数的Ⅳ 数の総合			40	2	40	2	
	実践自然科学Ⅰ 生物・地学			28	1	28	1	
	実践自然科学Ⅱ 物理・化学			28	1	28	1	
	実践演習Ⅳ 自然科学			16	1	16	1	
	実践答案練習Ⅱ			90	3	90	3	
	直前答案練習Ⅱ			102	4	102	4	
	直前答案練習Ⅲ			30	1	30	1	
	憲法			40	2	40	2	
	民法			68	3	68	3	
	行政法			38	2	38	2	
	公務員時事研究			30	2	30	2	
	公務員就職試験対策Ⅱ			30	1	30	1	
	公務員キャリアデザインⅠ			90	3	90	3	
	公務員キャリアデザインⅡ			120	4	120	4	
	公務員適性検査演習Ⅰ			60	2	60	2	
	トレーニング実習			30	1	30	1	
	職業実務Ⅱ			15	1	15	1	
	職業実務Ⅲ			15	1	15	1	
	職業実務Ⅳ			15	1	15	1	
	職業実務Ⅴ			15	1	15	1	
	公官庁講話			20	1	20	1	
	公務員倫理			15	1	15	1	
	公共ボランティア実習Ⅰ			30	1	30	1	
	公共ボランティア実習Ⅱ			30	1	30	1	
	法律研究			30	1	30	1	
	行政研究			30	1	30	1	
	必修科目授業時数		870	29	0	0	870	29
	選択科目授業時数		90	3	930	31	1020	34
卒業に必要な総授業時数		850	32	850	31	1700	63	

※1. 第1学年次において選択Cより90時間、3単位以上選択するものとする。

2. 第2学年次において選択Dまたは選択Hを選択するものとする。

- ・選択Dを選択した場合、選択Aに加え、選択Eまたは選択Gを選択するものとし、選択Eを選択した場合は、選択Fより30時間 1単位以上を選択するものとする。
- ・選択Gを選択した場合、選択Gより720時間24単位以上を選択するものとする。
- ・選択Hを選択した場合、選択B、選択Iより359時間10単位以上を選択するものとする。

2 令和5年3月31日以前に入学した者については、なお従前のおりとする。
別表第2

学科名	入学選考料	入学金	授業料 (年額)	維持費 (年額)
保育福祉科	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
介護福祉科	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
医療福祉科(2年制)	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
医療福祉科(1年制)	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
ビューティー科	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
美容科	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
製菓衛生科(2年制)	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
製菓衛生科(1年制)	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円
スポーツ産業科	20,000円	100,000円	680,000円	200,000円

※実習・演習費、教材費は別に定める。

※再入学の場合、入学検定料および入学金は不要とする。